

学校だより

わかくさ



副校長あいさつ

副校長 平石 勝久

高知若草養護学校に4月にきて、はや1学期が終わろうとしています。1学期は保護者の皆さまにも、ご協力いただき、本当にありがたうございました。

さて、本年度も、昨年度に引き続き、校長先生が示すミッションとして、学校経営計画の柱を4点に焦点化し、I・G・T・K(いいい・学校・作るう・計画)として掲げています。そして、柱の一つ文化・芸術・スポーツの振興の面において、1学期間ですでに成果をあげつつあります。

文化芸術の面では、紙と遊ぼう作品展に5点の作品を出品し、小・中学部の2作品が入選、また、中学部の作品が「淀ブルー観光協議会長賞」に輝きました。

スポーツの分野では、高知県障害者スポーツ大会に6名がエントリーし、好成績を挙げた中学部1名、高等部の2名の生徒が、福井県で開催される全国大会に出場することになりました。また、ポッチャ競技の普及拡大として、県ポッチャ協会と共催で、第2回ジュニアポッチャ県大会を本校で開催します。体育や行事を通して、生徒のみならずも腕を磨いてきているので、その成果を発揮すべく、大会へエントリーし、うれしい報告をみんなと共有できるように、児童生徒と教職員が一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

ています。

また今年度は、2学期に学園祭が行われます。文化の祭典として、みなさんの心に残る行事になるよう、児童生徒部を中心として、各学部では、様々な検討をしているところです。

I・G・T・Kでは、教育課程の一層の充実、授業の改善の取組も柱としており、今年度は、「主体的で、対話的で、深い学び」ができるように、視点を定め、さらにいい授業ができるよう実践を深めています。保護者の皆様のご支援、ご協力を重ねて、よろしくお願い申し上げます。

各学部より

小学部主事 堀 ゆかり

中学部主事 山本 洋平

高等部主事 河野 美知

平成30年度は7月時点で、小学部16名、中学部19名、高等部27名で元気に学習しています。今年度も、一人一人の児童・生徒の目標達成に向けて、授業だけでなく学校生活全体を学習の場ととらえ、丁寧な指導を行うように担任一同協力し、下記の子ども像・生徒像を目指し、学習を積み重ねていきます。

これまで以上に保護者のみなさまと連携を取りながら進めていきたいと思っておりますので、今後ともいろいろご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

小学部

【目指す子ども像】 「げんきに かよく いきいき とろくたん」
【学部目標】

○生活リズムを整え、健康な体をつくることにも、基本的な生活習慣の確立に向けて必要な力をつける。

○身近な人と関わり、やりとりする力や表現する力、互いを思いやる気持ちを育てる。

○日々の学習や社会体験的な学習を通して、生活するために基礎的な力をつける。

○学び楽しさを知り、進んで学ぼうとする意欲を高め、考える力、学ぶ力を育てる。

中学部

【目指す生徒像】 「元気 笑顔 チヤレンジ」
【学部目標】

○健康・体力の維持増進に努めるとともに、基本的な生活習慣を確実に身につけさせる。

○共に学び育ち合う中で、仲間を大切にし、思いやりや協調する態度を養う。

○自分の要求や思いを様々な方法で表現する力をつけさせる。

○生活をひろげ、自分で判断し行動する力を養う。

○自ら進んで学習する意欲や態度を育て、学力の充実を図る。

高等部

【目指す生徒像】 「豊かな心と自立する心をもつ生徒」

【学部目標】

○健康・体力の維持・増進を図るとともに、より確かな基本的な生活習慣を身につけさせる。

○互いにそれぞれの違いを認めあい、協調・協力する態度を養う。

○コミュニケーションを大切にしながら円滑な人間関係を結ぶ力を育てる。

○社会自立(進路実現)に向け、自分で判断・選択し、決定していく力を育て、社会の中で生活するための力をつけさせる。

○社会生活に必要な知識・技能の習得と学力の向上を図る。

寄宿舎より

寮務主任 中島 伸一郎

本年度の寄宿舎は、新入舎生がいなかったため、昨年度からの継続入舎生14名(小学部:2名、中学部:6名、高等部:6名)と指導員14名で新年度がスタートしました。6月に中学部3年生の男子生徒が入舎し、15名となり新しい出会いが、また一つできました。子どもたちは喜びと期待感だけでなく不安もいっぱいあると思います。指導員全員で一人一人の不安を受け止め、楽しい寄宿舎生活が過ごせるよう「子どもファースト」で支援していきます。

また、寄宿舎では「生きる力や自立の力を高め、将来の社会参加に向けての基盤をつくる」ことを目標として掲げています。子どもたちの実態は、それぞれ違いますが、少しでも一人です

きることを増やし、将来に繋がってほしいと考えています。

7月6日に計画されていた寄宿舎夏まつりは、悪天候のため中止となりました。開催の準備や、参加・協力をお願いしていた保護者の方々や春野高校生徒会、地域の方々も残念だったと思います。販売予定のお菓子類を買い取っていただいた保護者の方々、先生方ありがとうございました。

これからも、寄宿舎指導員全員で、寄宿舎生の健康面や安全面はもちろん、精神面の配慮も大切に、日々支援していきますので、保護者の皆さまもご理解、「協力をよろしくお願ひいたします。

教務部より

教務部長 原 博子

教務部の業務のうち、保護者の皆様にご協力いただいていますものは、大きく分けて3つです。

①教育課程の編成及び適正な実施と改善

教育課程とは、耳慣れない言葉ですが、児童生徒の皆さんが、学校教育目標を達成するために、どんな内容を、何時間かけて学習するのか等、総合的に組織した学校の教育計画のことです。教育計画の一番身近なものは、過日、保護者の皆様にお示ししました「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」「年間指導計画」です。それらに沿って指導し、評価・改善し、さらに適切な教育計画となるように、

教務部が中心となり、学校全体で教育課程の改善に取り組んでいます。

②教科書に関する事務、学校図書室の図書購入や管理

保護者の皆様にとって教科書といえば、小中学校時代に使われた国数英理社等のものだと思いますが、それらを使うことが適当でない児童生徒の皆さんは、法令により他の適切な教科書を使用できることになっています。年度当初に☆印の本や絵本等が配布されていますが、それが教科書です。(一般図書と言ひ、無償です)前年度中に実態やニーズを把握している担任が、数多くの一般図書の中から適切だと思われるものを指導計画に沿って選び、教務部がまとめています。

③学校行事予定、参観週間企画

6月の参観週間には多くの保護者の皆様にご参加いただき、授業に関するご意見をいただき、ありがとうございます。

1学期末には、2・3学期の行事予定表をお配りしています。こちらにも、ご参加、ご協力をいただき、ご意見をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

研究部より

研究部長 前田 正博

①研究推進・授業改善をします。

今年度は「子どもたちが主体的に学ぶための教育課程の検討」主体的・対話的で深い学びの視点で教科指導や教科等を合わせた指導の充実を図る(2力年計画の2年目)をテーマとして設定し、研究を推進しています。今年度は昨年度作成した「授業改善シート」を活用しながら、主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善に取り組みとともに、視点の見直しを図ります。

具体的には、①自立活動と各教科等の目標や内容を明確にした取組、②各教科等を合わせた指導と教科別の指導の関連を明確にした取組、③障害の実態や特性、認知等に即した教科別指導の取組、以上3つの視点を大切にしたい授業改善を1人1回以上の公開授業を通じて、互いに学び合いながら、研究に取り組んでいきます。

全体としては、今年度も小中高を縦割りにしたグループ研究を進め、研究授業、学部を超えた授業の参観等も行っていきます。

②専門性向上のため研修会を企画・運営します。

教員の専門性向上のために、研修会を「コミュニケーションツール活用」や「感覚統合」等、現在の課題に照らし合わせながら、授業づくりに必要な知識が得られるようにし、各々の授業実践力を向上させていきます。

研究部の活動は、保護者の皆さまには見えにくい部分はあるかと思いますが、子どもたちの日々の取組に直接関係する重要な部署となります。子どもたちが主体的に学び、「できる」「わかる」授業づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

自立活動部より

自立活動部長 長尾 あゆみ

自立活動部では、今年度も学校理学療法士や外部専門家の先生方との連携を行いながら、各クラスの担任と協力し、児童生徒の皆さんによりよい自立活動支援が行えるよう、取り組んでいます。今年度は年間を通して野中雅彦さんに学校理学療法士として勤務していただいています。野中先生は分校や他の特別支援学校などにも支援に行っています。2学期以降も保護者の皆様からの質問や、見学も大歓迎ですので、ぜひクラスの担任を通して自立活動部までご連絡ください。

長い夏休みに入ります。暑さ対策などの体調管理と合わせて、車いすの点検や姿勢の管理やなど、ご家族の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



児童生徒部より

児童生徒部長 沖 馨一郎

児童生徒部では、児童生徒会活動、学校生活アンケートの実施、読書活動、芸術鑑賞会、学園祭、スクールバス関係等の取り組みを行っています。

特に今年度は、2年に1度の学園祭を行うことになっていきます。学園祭では、ステージ発表や模擬店等を予定しています。児童生徒全員が昨年の体育祭同様に協力し全力で取り組んでくれることと思います。また、全校児童生徒からスローガンを募集して学校全体で共有することになっていきます。今年度のスローガンはどんな内容になるのか、楽しみにしていて下さい。保護者の方々にもいろいろとご協力いただくことが多いと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

保健体育部より

保健体育部長 山本 幸彦

保健体育部は、児童生徒部より体育やスポーツ、保健に関する部門が分かれ、今年度新設されました。

保健体育部では、障害者スポーツセンターと連携し、体育やクラブの充実を図ること、ポッチャ協会と連携し、ポッチャ競技の普及拡大を図ることを重点課題とし、

(1)児童生徒の健康増進や運動能力の向上、また身体を動かす楽しさや喜びを味わうことを目指し、体育的行事の実施や基礎体力の向上を図る。

(2)体育授業や体育系クラブ活動において障害者スポーツへの取組を活性化し、各種スポーツ大会への参加を推進する。また、ポッチャをはじめとする障害者スポーツの競技力向上と普及・推進を図る。

(3)各体育施設の安全でスムーズな運営管理を図る。

(4)養護教諭と連携し、児童生徒の健康維持・増進のための指導管理を行う。学校保健委員会、学校給食委員会のスムーズな運営を行う。

を基本方針として取り組んでいます。具体的な活動内容としては、

(1)【体育行事立案・実施・指導】

①交歓会 ②『平成31年度 体育祭』への取組 ③体育研修・救急法講習会の企画実施④体育施設・プール運営管理

(2)【スポーツ活動推進】

①体育系クラブ活動推進 ②障害者スポーツ大会への参加 ③ポッチャ等障害者スポーツの普及・推進④教職員のスポート大会への参加

(3)【体育施設運営管理】

①体育館、体育器具用品、プール、グラウンド

(4)【保健・健康】

①身体測定、救急法講習会、性教育の推進 ②学校保健・給食委員会の運営

などに取り組んでおります。

2学期には、11月17日(土)に『第2回高知県ジュニアポッチャ大会』が本校体育館を会場として開催されます。ぜひとも、多くの児童生徒の皆さんに出席していただきたいと思っております。ふるってご参加ください。

今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



学校・地域安全対策部より

学校・地域安全対策部長 松本 知美

学校・地域安全対策部は、昨年度まで防災対策部で行われていた防火・防災訓練や安全教育に、地域と学校との連携や校内での事故等を減らす業務が加わった部署として今年度新設されました。

先生方や児童生徒の皆さん、保護者の皆さまや地域の皆さまと、さまざまな安全に関する情報を共有し、助け合い、より良い生活につながる情報を発信し、実践していきたいと考えています。

7月14日には、高等部・中学部の土曜授業の日程に合わせて「災害伝言ダイヤル17171の体験利用」を実施させていただきました。被災時には電話がつながりにくくなることを想定し、本校では1771を利用して、保護者の皆さまに児童生徒の安否や被災状況をお伝えすることにしているため、ご家庭等でそれぞれに体験しておいていただくことをお勧めしています。次回は学園祭当日に実施予定です。

いじめ防止等対策委員会より

人権教育主任 秋山 美幸

いじめ防止等対策委員会では、いじめの未然防止やいじめが疑われるようなケースが生じた際に、正確な情報の収集や整理、具休策を話し合い、組織的にスムーズに対応が行えるようにつとめています。

先日、本年度の第1回いじめ防止等対策委員会を実施いたしました。スクールカウンセラーの助言をいただきながら会議を進めました。そのなかで、平成30年度「学校いじめ防止基本方針」と「いじめ重大事態対応フロー図」が承認されましたので、学校のホームページに公開いたします。ぜひ、ご覧ください。

高知県立高知若草養護学校
給食・舎食運営委員会より

事務長 小松 孝教

この会は、給食、舎食、舎食を利用する児童生徒(保護者)、教職員などからの集金や就学奨励費から振り込まれた給食費、舎食費の会計を管理し、食材料費の支払いを行っています。

例年、3月分給食費等の引き落としが翌月4月20日、その後引き落としができなかった方へのご通知、入金の後、業者に支払いを行い、会計の決算、監査を行っています。

平成29年度高知県立高知若草養護学校給食・舎食運営委員会決算報告

	収入	支出	差引残額	備考
給食会計	8,338,622	8,338,622	0	収入はすべて食 材購入に充てて います。
舎食会計	2,884,600	2,884,600	0	
計	11,223,222	11,223,222	0	

相談支援室より

相談支援室長 吉村 栄里香

「相談支援室」です。今年度、「地域連携室」から名称を変更しました。特別支援学校にはセンター的機能が求められており、本校では、地域へも校内へも「インクルーシブ教育システム」「合理的配慮」の理解啓発を図るために以下の表のような取組を行っています。「相談支援室」は、これらの業務を担当しています。また、これらの内容を広く知っていただき、活用していただくために、本年も「若草わかばだより」を発行しています。詳細はホームページに掲載していますので、ご覧ください。

	本校の理解啓発	校外での支援	校内での支援	研修機会の提供	就学前教室		
4月	地教委訪問	通年保育園支援 (随時)	サポート 事業 ・ 教育相談 ・ 巡回相談 (随時)	研修会講師 (随時)	わかば教室 (毎月第2 または 第3 火曜日)		
5月	個別の学校見学・ 体験入学 (随時)			来校相談・ 電話相談等 (随時)		公開講座(7/30) 自主学習会	
6月	↓	夏休み保育園支援 (7/23~8/3)	↓	研修会講師 (随時)	↓		
7月				通年保育園支援 (随時)		↓	↓
8月							
9月	↓	↓	↓	↓	↓		
10月							
11月							
12月							
1月							
2月							
3月							